

令和5年度岩手県医療審議会 第3回医療計画部会 会議録

日時：令和6年2月14日（水）16：30～18：00

場所：岩手県庁 12階 特別会議室

1 出席者

別添出席者名簿のとおり

2 会議録

**議事 岩手県保健医療計画（R6-R11）の中間案について**

〔小泉嘉明部会長〕

小泉でございます。中間案ということで、最終案の策定に向け、皆さんから忌憚のない御意見をいただきながら、進行の方を進めていきたいと思っております。

それでは、議事の内容について事務局からご説明をお願いします。

**事務局 医療政策室 佐藤主査から、資料1-1により説明。**

※主に、前回素案策定時からの変更内容について説明

〔小泉嘉明部会長〕

説明ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局からの説明につきまして、ご質問等ありますでしょうか。

〔樋澤正光委員〕

中身についてどうのこうのではないのですが、適正受診や限られた医療資源の有効活用の観点から、資料32ページの「小児救急医療電話相談事業」について、利便性の向上を図りながら、引き続き取り組んでいただきたいという点と、検討課題として、資料33ページの「救急安心センター事業」についても、同様の理由から、是非前向きに設置に向けて取り組んでいただきたい。

我々保険者の方も、周知や広報の面で全面的にご協力したいと思いますので、よろしく願います。

〔事務局（医療政策室 佐藤主査）〕

#8000につきましては、昨年度、令和4年度から時間延長し拡充しておりますので、引き続きしっかり対応していきたいと思っております。

また、#7119につきましては、まさに今回計画の中で設置に向けた検討をしていく旨記載しておりますので、関係機関の方とも調整していきながら、早めに設置できるよう検討を進めて参ります。

〔小泉部会長〕

その他ご質問ご意見等ありますでしょうか。

**〔伴亨専門委員〕**

資料46ページの、「医療に関するデジタル化」についてですが、目標値を100%としている部分は、民間病院も含めた形でしょうか。

**〔事務局（医療政策室 佐藤主査）〕**

民間病院を含めた形での目標値となっています。

**〔小泉嘉明部会長〕**

その他ご質問ご意見等ありますでしょうか。

ないようであれば、本日のご意見等を踏まえ、事務局の方で最終案のとりまとめの方を事務局で引き続きお願いします。何度も説明、議論をしている内容ですので大丈夫かと思えます。私が出席している、釜石の地域会議では、地域の意見や要望も出るのですが、県の全体計画を踏まえ、それぞれの地域においてしっかりやっという事で整理していただきましたので、それぞれの地域もそのような形かと思えます。

それでは、進行を事務局にお返しします。

**〔事務局（工藤医療政策担当課長）〕**

小泉会長ありがとうございました。それでは次に、「3 報告」に移ります。報告事項、「令和6年度奨学金養成医師の配置調整案について」事務局から説明させていただきます。

事務局 医療政策室 柴田医務課長から、資料2により説明。

※質疑応答なし

**〔事務局（工藤医療政策担当課長）〕**

それでは次に、「4 その他」に移ります。その他事項、「令和6年度岩手県一般会計当初予算案」について事務局から説明させていただきます。

事務局 医療政策室 佐藤主査から、資料3、資料3（参考）により説明。

**〔吉田徹専門委員〕**

資料3にある、「助産師活躍推進事業費」について、具体的に来年度どのような取組になるのでしょうか。

**〔事務局（柴田医務課長）〕**

周産期母子医療センターに配置されている助産師さんについて、正常分娩に立ち会う機会がなかなか少ないということもあり、産婦人科の診療所の方に派遣するなどの研修をイメージした形で現在事業を検討しているところです。

**〔吉田徹専門委員〕**

助産師の確保に係る事業は何かあるのでしょうか。

**〔事務局（柴田医務課長）〕**

助産師の確保については、看護師の修学資金の貸付の部分で確保を進めてきたところであり、引き続き制度の方を学生に周知するなどにより確保を進めて参ります。

〔事務局（工藤医療政策担当課長）〕

その他ご質問ご意見等ありますでしょうか。委員の方々からは、「その他」として何かありますでしょうか。

なければ、最後に事務局からのご連絡ですが、事務局説明の際にもありましたとおり、本日当部会でいただいた御意見や各疾病・事業の協議会における御意見などを踏まえ、事務局において再度調整したものについて、2月下旬に書面による開催を予定しておりますので、その際は再度御意見等をいただければと思います。よろしくお願ひ致します。

それでは、最後に、野原企画理事兼保健福祉部長から、閉会に当たり一言御挨拶を申し上げます。

〔事務局（野原企画理事兼保健福祉部長）〕

委員の皆様方、今年度は医療計画をはじめ、保健福祉部だけで21計画もあるところなのですが、医療計画部会におきましてもこれまで3回に渡りましてご審議いただいたほか、昨年3月の諮問前からも、医療圏の設定の考え方など、計画策定の進め方についてご審議いただいておりますので、計画部会として計4回、また医療審議会としてこれまで計2回の、計6回審議いただいているところであります。

また、その他がんや循環器、周産期、救急医療や医師確保、薬務関係などのそれぞれの協議会等においても本当にご審議をいただいて、このような形で中間案ということできるところまでできました。改めて御礼を申し上げたいと思います。

今回パブリックコメントを実施しましたが、他の計画よりも多い、100件を超えるご意見をいただきました。医療計画については、関係する皆様や県民の皆様の関心が非常に高いものなのだと思っております。

今回の計画は、改めてご説明をするものではありませんが、本県は人口減少が非常に加速している状況で、高齢者人口も今後ピークアウトしていく状況なのですが、一方で75歳以上の団塊の世代が高齢化を迎えていく、また、医療の担い手が減少していくこと、疾病構造が変化していくことなどを見据えながら、地域で身近な医療をしっかりと受けられること、医療が非常に高度・専門化しておりますので、それらにしっかりと対応して、質の高い医療を県民にしっかりと提供できること。この二つの視点でもって、医療計画をはじめ、様々な計画について、ご審議いただけてきたところであります。

今後、各専門協議会等での審議・調整を踏まえまして、3月中旬には医療審議会において、最終案としてご報告させていただいて、答申をいただくこととなります。本当にこれまで、様々ご意見をいただきながら、本県医療の方向性というものをお示しすることが出来たのではないかと考えております。

当部会においても、小泉部会長がよくお話しいただいていたとおり、非常に多岐にわたる計画であることと、今回疾病・事業別医療圏という新たな考え方もお示しさせていただいた中で、県民の皆様へ丁寧な説明が必要なことについてお話しいただいていたところであります。まさにその点については、重要な視点であり、パブリックコメントや地域での説明などにより、これまで県民の皆様への説明に努めてきたところでありますが、引き続き、計画の内容について、丁寧な説明に努めて参ります。

また、計画は策定して終わりではありませんので、年度が替わり、新たな保健医療計画をしっかりと推進していけるよう、県としても取り組んで参りますが、行政だけでなく、医師会や歯科医師会、看護協会など、様々な保健・医療の各団体の皆様のお力が必要でありますので、引き続きの御支援・御協力のほどお願ひ致しまして、閉会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

〔事務局（工藤医療政策担当課長）〕

以上をもちまして令和5年度岩手県医療審議会第3回医療計画部会を終了いたします。  
本日はありがとうございました。

別添

出席者名簿

区 分	氏 名	所 属	役 職	備 考
委 員	内宮 明俊	岩手県国民健康保険団体連合会	専務理事	欠席
委 員	梶田 佐知子	(特非)岩手県地域婦人団体協議会	事務局長	欠席
委 員	久保田 公宜	一般社団法人岩手県医師会	常任理事	
委 員	小泉 嘉明	一般社団法人岩手県医師会	副会長	
委 員	佐藤 保	一般社団法人岩手県歯科医師会	会 長	
委 員	丹野 高三	岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座	教 授	欠席
委 員	樋澤 正光	全国健康保険協会岩手支部	支部長	
委 員	畑澤 博巳	一般社団法人岩手県薬剤師会	会 長	
専門委員	磯崎 一太	洋野町国民健康保険種市病院	院 長	オンライン出席
専門委員	伴 亨	社団医療法人法成会 平和台病院	理事長	
専門委員	吉田 徹	岩手県立中部病院	院 長	